



容器包装プラスチックの分別にご協力ください

津市では、分別収集された容器包装プラスチックをリサイクル事業者へ引き渡しリサイクルしています。リサイクルに適した品質を確保するため、引き渡し前に、人の手で異物の選別作業を行っています。全てを取り除くことは困難な状況です。

資源の有効利用のため、家庭での正しい分別にご協力ください。

また、袋の中に
ごみの入った袋を
入れる二重袋はや
めましょう。

分別することで
品質が良くなる
んだよ



容器包装プラスチックの目に出せるもの

- プラマークが付いているもの

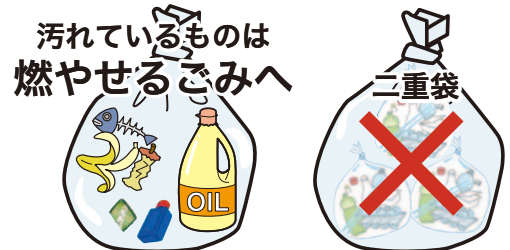
このマークが目印!



- 空になったプラスチック製の容器や包装
- ふたやキャップなど、容器や包装の一部になっているもの
- 商品の保護や固定に使われるもの、ふたやトレイに準ずるもの

容器包装プラスチックの出し方の注意事項

- 汚れているものは、リサイクルできないだけでなく、きれいなものも汚れるので、必ず燃やせるごみの日に出しましょう。
- 二重袋はやめましょう。
- 容器包装プラスチック以外のものが混ざらないようにしましょう。



リサイクルセンターでの現状

汚れたものや異物が混入

容器包装プラスチックの処理量は一日約16tです。その内汚れているためリサイクルできず焼却処分となる量は約3tです。

また、びん、スプレー缶などの容器包装プラスチック以外のものが約40kg混入しています。

時間がかかる選別作業

リサイクルセンターでは機械と人の手で袋を破いたり、異物を取り除いたりしています。二重袋になっていると機械だけでは袋が破れず、手作業になるため選別作業に時間がかかります。



汚れや異物混入があるとリサイクルができなくなりますので、分別にご協力ください。